

佐渡を彫れ！ 第20回全国高等学校版画選手権大会

はんが甲子園



第19回大会 文部科学大臣賞「手塩にかける」市立札幌旭丘高等学校

くあらおもしろや佐渡の海 満目青山 名を自ずから
その名を問えば 佐渡という 黄金の島ぞ妙なる 世阿弥『金島書』より

全国の高校生の皆さんが制作した版画作品を募集します。
応募作品の中から、個人部門優秀作品と団体部門本戦大会出場校を選出します。
団体部門選出校は、来春3月に佐渡で開催する本戦大会に出場し、佐渡島内を取材した後
選手3名で共同してテーマに沿った作品1点を制作していただきます。
「高校版画日本一」を目指す、皆さんのご応募をお待ちしております。

開催目的 佐渡へは、古来より海を越えて様々な人々が渡来しました。中世、順徳上皇や日蓮など多くの文化人が配流されると、中央の文化がもたらされ、佐渡に根付きました。近世初期、佐渡金銀山の本格的開発が始まると、全国から多くの人々がそれぞれの文化を携えて集まってきました。これらの文化が交りあい幾重にも積み重なって反応し、佐渡独自の文化へと進化、熟成されてきました。

この豊かな文化の土壌に、佐渡の版画は育まれました。1970年代、佐渡を版画で表現し続けてきた故高橋信一氏（1917～86）は、佐渡の魅力語り、版画の指導と育成に尽力し、「山の版画村」「海の版画村」など数多くの版画村を誕生させました。昭和59年（1984）には、活動拠点として「佐渡版画村美術館」が開設され、佐渡が「版画の島」と呼ばれる契機となりました。

このような背景をもとに、全国の高校生に豊かな想像力と創作意欲を発揮する場を提供するとともに、住民との交流を通じて佐渡への理解を深め、瑞々しい感性が生み出す新しい表現の作品を制作していただくため、第20回全国高等学校版画選手権大会（はんが甲子園）を開催します。はんが甲子園で制作された作品は、全国各地で開催した展示会で賞賛を受けました。また、平成22年（2010）パリで開催した特別展では、ヨーロッパ各地の来場者から注目を集めました。

佐渡は、金銀山、朱鷺、おけさ、能、鬼太鼓にとどまらない、ある作家がいう“何かものを考えているような”岩礁など、無限の魅力を秘めています。全国の高校生の皆さん、あなたしか知らない佐渡を、あなたしかできない表現で、版画作品にしてください。

事務局 〒952-1592 新潟県佐渡市相川栄町27 佐渡市役所相川支所内 全国高等学校版画選手権大会実行委員会
TEL 0259-74-3111 FAX 0259-74-2551 HP <https://hanga.koshien.jp/> E-mail hanga.koshien@gmail.com

主催／全国高等学校版画選手権大会実行委員会

共催／（一社）佐渡版画村・佐渡市

後援（予定）／文部科学省・中小企業庁・新潟県・新潟県教育委員会・（公社）全国高等学校文化連盟・（一社）日本版画協会・佐渡市教育委員会・（一財）佐渡文化財団・（一社）佐渡を世界遺産にする会・（公社）新潟県観光協会・（一社）佐渡観光交流機構・全国商工会連合会・新潟県商工会連合会・佐渡連合商工会・佐渡商工会青年部協議会・佐渡商工会女性部協議会・新潟日報社・朝日新聞新潟総局・読売新聞新潟支局・毎日新聞新潟支局・産経新聞新潟支局・日本経済新聞社新潟支局・NHK新潟放送局・BSN新潟放送・NST・TeNYテレビ新潟・UX新潟テレビ21・（株）佐渡テレビジョン
特別協賛（予定）／（株）サクラクレパス・道刃物工業（株）・女神インキ工業（株）・佐渡汽船（株）・佐渡汽船観光（株）・新潟交通佐渡（株）・東北電力（株）佐渡電力センター・（株）ゴールデン佐渡・（株）近藤組・新潟大栄信用組合・佐渡観光旅館連盟・（一社）佐渡観光交流機構相川支部・（株）ベストライフ・昭和ゴム機工（株）・（株）双文社・サンフロンティア佐渡（株）・コカ・コーラボトラーズジャパン（株）
（順不同）